

所 報 研究所だより

教育・しまんと

令和4年度
NO. 3

発行 四万十市教育研究所

四万十市国見 222 番地
Tel/Fax (0880) 37-2817
ふれあい学級(0880) 31-1130

★ 沖縄、その後関東・甲信越地方が先に梅雨に入り、遅れて四国地方も梅雨入りが宣言され、ぐずついた日々が続いたかと思えば、気温 30 度前後の暑い日もあります。

そんな中、安並では水車が心地よく回り、周囲の紫陽花とともに、一服の清涼感を感じさせてくれています。

さて、新型コロナウイルスの感染防止対策の一環でもある「マスク着用」は一部緩和されたとはいえ、外すには周りの目が気になる場所でもあります。

ただ、この時期特有の蒸し暑い日も想定されます。熱中症等体調管理には十分気を付けてご指導ください。



安並の水車&紫陽花

研究協力校・協力員について

1 研究協力校について（令和3年・4年度）

- 研究協力校は小・中各1校、下記の学校で研究を行います。

①西土佐小学校

「自ら学び、かかわり合い、自分の思いを表現できる児童生徒の育成」

～ 情報活用能力の育成を見据えた
探究のプロセスを通して ～

②西土佐中学校

「自ら学び、かかわり合い、自分の思いを表現できる児童生徒の育成」

～ 情報活用能力の育成を見据えた
探究のプロセスを通して ～

★両校は、昨年度から2年間の研究期間で「中山間地域における特色ある学校づくり推進事業〈生活・総合 情報活用〉保小中連携」を受けています。その取り組みや集約に関して、情報発信していただいています。

2 研究協力員について（令和4年度）

① 有田 洋平 教諭（中村南小学校）

「小学校英語授業における ICT を活用した小中学校の学びをつなぐ効果的な指導法について」

★有田教諭は、昨年度から「小学校外国語専科指導教員」として、中村南小学校及び中村小学校3・4年生の外国語活動及び5・6年生の英語の指導にあたっています。

② 倉本 英樹 教諭（中村西中学校）

「人間関係を高める仲間づくりの研究」

★中村西中学校は、昨年度から「不登校支援推進プロジェクト事業」の推進校として指定を受け、倉本教諭はその推進役として取り組んでいます。

上記のお二人の実践及びその取りまとめを情報発信していただけることになりました。

研究協力校・研究協力員の先生方には大変お世話になります。よろしくお願いします。

各校の校内研究主題の紹介

【小学校】

下 田	自ら課題を追求し、主体的に学ぶ 子どもの育成 ～ 伝え合い、学び合い、深め合う算数科の 授業づくりを通して ～
竹 島	自ら学び、思いや考えを伝え合うこと のできる子どもの育成 ～ 話す・聞く活動を通して ～
東 山	主体的・対話的で深い学びの実現に 向けた授業づくり ～ 自分の考えを表現することが楽しいと思える 授業づくりを目指して ～
中 村	主体的・対話的で深い学びの実現に 向けた授業づくり ～ 各教科等における見方・考え方を働かせて ～
蕨 岡	自らの考えを持ち、共に高め合う 児童の育成 ～ 主体的に学び、考え、表現する 算数科の複式授業研究 ～
大 用	確かな学力を身につけ、ともに 学び合う子の育成
利 岡	複式授業で学びを深める児童の育成
具 同	安心できる学級・学校づくり ～ 生徒指導の三機能を生かし、 子どもの主体性を育てる ～
八 束	見通しを持ち、自ら学ぶ授業づくり
東中筋	伝え合い、認め合い、ともに学び合う 児童の育成 ～ 見方・考え方を働かせ、主体的な学びに つなげる授業づくり（算数科を通して）～
中 筋	自ら学びとる授業づくり ～ ICTの効果的活用を通して （算数科を中心に）～
中村南	見方・考え方を働かせ、資質能力を 育成する授業づくり ～ 「問い」を作るための 学習過程・指導方法の工夫 ～
西土佐	自ら学び、かかわり合い、自分の思い を表現できる児童の育成 ～ 情報活用能力の育成を見据えた 探究のプロセスを通して ～

【中学校】

下 田	個に応じた指導方法の工夫 ～ 全ての子どもの学力向上を目指して ～
中 村	主体的対話的で深い学びの実現に 向けた学習過程の工夫 ～ 見方・考え方を働かせた 授業づくりを通して ～
大 用	生徒の思考力・判断力・表現力を 高める授業づくり
中村西	見方・考え方をはたらかせ、思考を深 める授業づくり
西土佐	自ら学び、かかわり合い、自分の思い を表現できる生徒の育成 ～ 情報活用能力の育成を見据えた 探究のプロセスを通して ～
県立中村	生徒が思考を深め、自分の考えや 思いを表現する発問・活動の研究

以上です。

各校、一校一役での指定研究の推進や校内研究テーマによる児童生徒の健やかな成長を目指し、チーム学校で更に飛躍することを願っています。

【不登校児指導員について】

1名欠員になっていました不登校児指導員に、元小学校教員として勤務されていた「夕部由美」が、5/23 付けで着任しましたのでお知らせいたします。

【SSWの担当校について】

教育研究所には、2名のSSW（刈谷隆子、小花真里）が配置されています。これまでは、2人1組で週3日の勤務となっていましたが、本年度より、可能な限り1人体制の常勤とし、それぞれの担当校を別添の通り割り振りました。

毎月3日以上の上欠に関する聞き取り等に関しては、これまでと同様2人で訪問させていただくこともあります。学校の支援会や個別の家庭訪問等に関しても、学校の要望に応じて同行させていただく等、タイムリーな支援ができればと考えております。

何かありましたら前もって連絡いただければと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

※2人の担当校数を均等にするため、教育研究所内のSSWの行動に限定して、下田小・中学校と竹島小学校を中村西中学校区としました。

【刈谷 隆子 SSWの担当校】（7校）

★中村西中学校区

- ・中筋小学校
- ・東中筋小学校
- ・八束小学校
- ・具同小学校
- ・下田小学校
- ・竹島小学校
- ・下田中学校

【小花 真里 SSWの担当校】（7校）

★中村中学校区

- ・大用小学校
- ・蕨岡小学校
- ・利岡小学校
- ・中村小学校
- ・東山小学校
- ・中村南小学校
- ・大用中学校

【SSWの合同担当校】（2校）

★西土佐中学校区

- ・西土佐小学校
- ・西土佐中学校